

2 前期基本計画

紡ぐ 1 すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実

紡ぐ 1 ▶ ①地域福祉の推進

現況と課題

① 地域福祉を推進しています

- ・ 地域共生社会^{※15}の実現に向けた包括的支援体制づくりを推進しています。
- ・ 福祉分野における取組の方向性を示す地域福祉計画に基づき、地域福祉の推進に取り組んでいます。
- ・ 誰も取り残されない地域社会を実現するため、町社会福祉協議会及び町地域包括支援センターと連携し、見守り活動による多面的支援を行っています。
- ・ 支援の必要な住民の情報が迅速に把握できるよう、情報をつなぐ見守りネットワークの拡充に努めています。
- ・ 地域の暮らしを支える担い手として、総合的なマネジメントのできるソーシャルワーカーによる重層的支援を行っています。

② 地域のバリアフリー^{※16}化を目指しています

- ・ 維持補修等の費用が増大する老朽化施設では、バリアフリーに配慮した改修や建替え等を進めています。
- ・ 既設道路のバリアフリー化は、拡幅用地などの取得が必要となり進捗に課題があります。

③ ボランティア活動を推進しています

- ・ 高齢化の進展により、地域での支え合いやボランティアが地域福祉の重要な役割となります。
- ・ 地域のつながりと住民の主体的な活動を目指して、「生活改善」、「健康づくり」、「介護者支援」など、地域福祉を担う人材や様々なボランティアを育成しています。
- ・ 地域福祉交流施設においては「元気になるカフェ」、「22カフェ」、「ハートボラカフェ」を開催し、地域福祉活動への参加者のすそ野を広げる取組を行っています。

取組

① 地域福祉の推進

- ・ 地域生活の課題について、関係機関と連携して対応するほか、相談窓口の周知と機能の充実とともに、包括的な支援体制の強化に努めます。
- ・ 地域での生活を支える各種サービスを提供する事業者等と連携し、適切な支援を行います。
- ・ 誰もが支え、支えられるという共生型の地域活動を支援する一方で、地域又は既存制度で解決できない身近な生活課題については新たな支援等を実施します。
- ・ 関係部署や関係団体との連携により、8050問題^{※17}やヤングケアラー^{※18}など、制度の狭間で課題を抱えている方への対策に取り組みます。
- ・ 福祉活動の拠点である町社会福祉協議会の組織体制に見合った支援を実施します。
- ・ 地域での自発性や主体性を損なわないよう、地域で高齢者を支える仕組みを構築します。
- ・ ソーシャルワーカーなど、地域の暮らしを支える担い手の育成により、新しい公共の協力関係の構築を図ります。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における様々な交流が制限されるなか、要支援者と地域福祉をつなぐ民生委員・児童委員の活動を支援します。

② 地域のバリアフリー化

- ・ 新設道路改良においては、バリアフリーに配慮した道路設計を行います。
- ・ ユニバーサルデザイン^{※19}の考えに基づき、誰もが利用しやすい施設整備を目指すとともに、改修や建替え等の際には財政負担を抑えたバリアフリー化を推進します。

③ ボランティア活動への支援

- ・ ボランティア団体等を強固にするための支援を実施します。
- ・ 地域福祉交流施設の活用によりボランティア活動に触れる機会を増やすとともに、地域を支える新たな人材発掘に努めます。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 生活支援体制整備事業の協議体設置数 (地域支え合いネットワーク)	箇所	0	2	協議体の設置数
③ 地域福祉交流施設の事業開催数	回	65	150	開催実績

関連する 個別計画	第2期吉岡町地域福祉計画	第4期吉岡町障害者計画
	第6期吉岡町障害福祉計画	第2期吉岡町障害児福祉計画
	吉岡町公共施設等総合管理計画	吉岡町第2期子ども・子育て支援事業計画
	吉岡町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画	

関連するSDGs



※15 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」、「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会を言います。

※16 障害のある方や高齢者などが暮らしやすくなるために、道路の段差など、障壁をなくすことです。

※17 80代の親が50代の子の生活を支える状況を言います。

※18 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子を指します。

※19 国籍、年齢、性別、障害の有無に関係なく全ての人が利用しやすい「まち」や「もの」をつくるという考えです。

紡ぐ1 ▶ ②健康づくりの推進

現況と課題

① 住民主体の健康づくりを推進しています

- ・ よしおか健康推進協議会を主体に健康 No.1 事業を実施しており、健康ポイント事業の拡充を図っています。
- ・ 各自治会では、独自の健康づくり事業を実施しています。
- ・ 食生活改善推進員の食育活動により、健康的な食事を地域に広げています。
- ・ 運動習慣のきっかけづくりとなるよう、各種健康教室を実施しています。
- ・ 各種健（検）診の受診率が低く、課題となっています。
- ・ 疾病予防、早期発見・早期治療のため特定健診及び若年層に、わかば健診を実施しています。
- ・ 集団健（検）診は、がん検診と特定健診、わかば健診と一緒に受診できる「総合健（検）診」を実施しています。
- ・ 個別健（検）診は、渋川広域圏医療機関において受診できるようにしています。

② 新しい生活様式の定着化が必要とされています

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手指消毒、3密の回避等、新しい生活様式の定着化が必要とされています。
- ・ 自粛生活や収入の減少により、精神的ストレスを抱える人が増えています。

③ 医療体制の充実に努めています

- ・ 渋川地区医師会と協力し、夜間救急診療所や休日当番医の充実に努めており、町広報誌や町ホームページによる周知を行っています。

④ メタボリックシンドローム※20の予防・改善に取り組んでいます

- ・ 特定健康診査結果から、メタボリックシンドロームとその予備群の対象者を中心に専門家が個人の生活や体調に合わせた食事や運動等の生活改善を支援する、特定保健指導を実施しています。

⑤ 温泉を活用した健康増進を推進しています

- ・ 住民が「よしおか温泉リゾートピア吉岡」を利用し、主体的に健康の保持・増進を行えるよう、取組を進めています。

取組

① 住民主体の健康づくりの推進

- ・ 健康 No.1 事業や健康ポイント事業の周知・活動支援を推進します。
- ・ 地域との協働により、身近な場所で健康づくりを行える環境づくりを進めます。
- ・ 健（検）診受診がライフワークに位置付けられるよう、啓発活動に努め、各種健（検）診の受診率向上を図ります。
- ・ 運動習慣や食習慣を見直す場と健康状態や不安・心配事の相談の場を提供します。
- ・ 特定健康診査・特定保健指導の受診率向上のため、広報やイベントで PR 活動を推進します。

② 感染症対策の強化と健康支援

- ・ 感染症の対策方法の啓発に力を入れるとともに、予防接種の円滑な実施に努めます。
- ・ 感染症流行下においても、こころの相談や健康相談等により健康維持が図れるよう、支援します。

③ 医療体制の維持と適切な受診の推進

- ・ 渋川地区医師会・渋川北群馬歯科医師会・渋川医療圏の医療機関や関係団体・渋川保健福祉事務所・渋川市・榛東村との連携により、医療体制の維持に努めるとともに、「よしおか健康 No.1 ダイアル」や「#8000」の周知により適切な医療機関受診を推進します。

④ 特定保健指導及び生活習慣予防教室の実施

- ・ メタボリックシンドロームとその予備群の予防・改善のため、特定保健指導及び生活習慣病予防教室の実施と特定健康診査等の受診 PR 活動を推進します。

⑤ 健康増進の充実

- ・ 「よしおか温泉リゾートピア吉岡」の利用により、住民の健康増進が一層図れるよう、憩いやすらぐことのできる施設を目指します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① よしおか健康 No.1 事業の参加者数	人	14,031	23,000	参加者数
① よしおか健康 No.1 ダイアル利用者数	人	386	700	利用者数
④ 特定健康診査の受診率	%	27.6%	45.0%	対象者数に対する 受診者数の割合で算出

関連する 個別計画	吉岡町健康づくり計画	吉岡町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画
	吉岡町自殺対策計画	吉岡町新型インフルエンザ等対策行動計画
	第3期特定健康診査等実施計画	吉岡町第2期子ども・子育て支援事業計画
	吉岡町国民健康保険第2期データヘルス計画	

関連するSDGs



※ 20 内臓脂肪型肥満によって、様々な病気が引き起こされやすくなった状態のことです。

紡ぐ1 ▶ ③子ども・子育て支援の充実

現況と課題

① 子育て支援をしています

- ・ 妊産婦健診や新生児聴覚検査の助成を行っています。
- ・ 助産師や保健師による新生児全戸訪問のほか、母乳相談や乳幼児健診を実施しています。
- ・ 心理士による子育て相談や発達支援教室・園訪問事業など、発達に心配のある子どもの支援のほか、栄養士による離乳食相談や食育教室、歯科衛生士による歯科相談、作業療法士や言語聴覚士による相談会、保健師による家庭訪問相談を実施しています。
- ・ 子ども自身が食品選びをできる力をつけるため、小学校高学年の子どもの対象とした「こども食育食堂」を実施しています。
- ・ 子育て世帯の増加に対応した環境整備を行っています。
- ・ 学童保育需要の高まりにより、学童クラブの施設整備を進めています。
- ・ 地域で子どもたちを見守る体制づくり「放課後見守り教室」の取組を進めています。

② 産前・産後をサポートしています

- ・ 妊娠を希望する方に不妊治療・不育症治療費を助成するとともに、助産師相談を実施しています。
- ・ 子育て包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から切れ目のない支援を強化しています。
- ・ 産前1か月（母子手帳交付時）から産後1年の母親を対象に、ヘルパーが訪問し家事・育児の援助を行っています。

③ 保護者の経済的負担の軽減を図っています

- ・ 高等学校等への通学には、バス・鉄道等の公共交通が利用されることから高校生等が利用する通学定期券購入費の一部を助成しています。
- ・ 中学校卒業までの医療費の自己負担分及び高校生世代の入院費を助成しています。
- ・ 要・準要保護世帯への就学援助制度の運用のほか、学校給食費への支援、部活動大会出場経費の負担、通学用ヘルメット代補助、特別支援学校就学援助費の支給などを実施しています。

④ 児童虐待の防止に努めています

- ・ 児童虐待防止のため、保護者の子育てに対する不安や悩み等の負担軽減を図っています。
- ・ 要保護児童対策地域協議会実務者会議を毎月開催し、児童虐待の予防・早期発見・介入に取り組んでいます。

取組

① 子育て支援の充実

- ・ 子どもの成長・発達についての健（検）診のほか、多様な相談会や教室を開催し、子育てを支援します。
- ・ 元気に子育てできるよう、保護者の健（検）診受診の促進や悩みごとの相談に力を入れます。
- ・ 子どもが幼児期から社会性を育むための一助と、働く保護者が安心して就業できるよう、様々な観点から保育環境の充実を図ります。
- ・ 年少人口の増加、学童保育需要の高まりにより、待機児童を出さないよう、施設整備を進めます。
- ・ 安全・安心な施設整備により、充実した学童クラブ活動に寄与します。
- ・ 自治会やボランティアと協力しながら放課後の児童の居場所づくりの拡充を図ります。

② 産前・産後のサポートの推進

- ・ 妊婦や家族のニーズに応じた教室の実施、助産師・保健師訪問や相談の充実を図ります。
- ・ 産前・産後の援助や取組を継続し、子育ての負担軽減を図ります。
- ・ 妊娠期から出産・子育て期まで、支援プランに基づく適切な支援を強化します。

③ 保護者の経済的負担の軽減を拡充

- ・ 高等学校等への通学費補助を継続し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象範囲を中学生まで拡大するなど制度内容の拡充に取り組みます。
- ・ 子どもの疾病の早期発見や重症化の予防、健全な成長と保護者の医療費負担の軽減を継続します。
- ・ 社会情勢により必要性が生じた場合には、新たな保護者支援を適宜実施します。

④ 児童虐待防止対策の推進

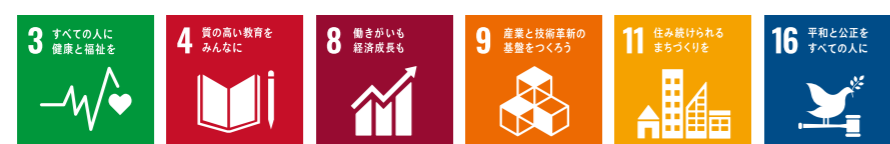
- ・ 児童相談所・幼稚園・保育園・学校・家庭・民生委員・児童委員等と連携し、虐待防止に向けた周知啓発と対策の充実を図ります。
- ・ 支援が必要な家庭には、定期的な訪問を継続して実施します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 保育施設の定員	人	820	860	施設の定員数
① 学童クラブの定員	人	355	450	施設の定員数
② 産前・産後ファミリーサポート センター利用者数	人	53	60	延べ利用者数
③ 高校生等公共交通通学支援	件	99	130	補助金交付決定数

関連する 個別計画	吉岡町第2期子ども・子育て支援事業計画	吉岡町自殺対策計画
	吉岡町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画	吉岡町健康づくり計画
	吉岡町新型インフルエンザ等対策行動計画	吉岡町教育振興基本計画

関連するSDGs



紡ぐ1 ▶ ④高齢者福祉・介護の充実

現況と課題

① 健康づくりと介護予防を推進しています

- ・高齢化に伴う介護給付費が年々増加するなか、高齢者保健事業と介護予防事業の一体的な取組が重要視されており、介護予防事業では介護状態を進行・重度化させないよう、求められています。
- ・町社会福祉協議会では、町老人福祉センターにおいて「はつらつ体操教室」、「げんきアップ体操教室」、各地区集会所において「ふれあいいきいきサロン」や筋トレを実施しています。

② 介護サービスや高齢者支援の充実を図っています

- ・高齢化を要因に要介護認定者が増加しています。
- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を定期的に見直ししながら、事業の進捗状況や事業効果などを毎年検証し、計画の実現に努めています。
- ・成年後見制度の推進のため、町社会福祉協議会に町成年後見支援センターを設置しました。
- ・高齢者虐待、消費者被害などの相談に対して、町地域包括支援センターが電話で相談を受けられる体制を整えています。

③ 高齢者の生きがいづくりを促進しています

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、幅広い世代や地域住民との交流が困難となり、高齢者と社会との接点が薄くなっています。
- ・老人クラブをはじめ、趣味や健康づくり、ボランティアなど様々な活動を通じて、高齢者の社会参加や生きがいづくりに資する活動を支援しています。
- ・就労意欲のある高齢者に町シルバー人材センターをはじめとする関係機関の情報を提供し、高齢者の多様な就業機会の確保に努めています。

④ 後期高齢者の健康診査及び人間ドック受診補助事業を実施しています

- ・健康診査は、渋川広域圏医療機関において受診できるようにしています。
- ・人間ドック受診者に対する補助を実施しています。
- ・健診結果をもとに、介護予防事業と連携し高齢者の健康保持の増進を図っています。



関連するSDGs



取組

① 地域包括ケアによる健康づくりと介護予防の推進

- ・地域包括ケアシステム^{※21}の構築を実現します。
- ・高齢者のQOL^{※22}の低下を防ぎ、要支援や要介護状態となることを遅らせるよう、介護予防の充実を図ります。
- ・感染症流行下における各種教室の実施方法を地域と保健センター等で協議するとともに、リモート対応の取組を進めます。

② 介護サービスや高齢者支援の充実

- ・介護サービスの適正化に努めるとともに、指導及び監査権限が及ぶ事業所には実地指導等から質の向上を求めるよう、指導します。
- ・地域密着型サービス^{※23}の提供体制の整備を進めます。
- ・町成年後見支援センターの周知を図り、制度普及に努めます。
- ・認知症行方不明者の迅速な発見と事故予防のため、見守り事業の利用者拡大に努めます。
- ・家族介護者を支援するとともに、家族介護者間の情報交換や交流を促進します。

③ 高齢者の生きがいづくりの促進

- ・地域福祉交流施設を多世代交流や趣味活動などができる場としても活用し、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにつながる事業を実施します。
- ・身近な地域で高齢者が働けるよう、町シルバー人材センター等と連携して高齢者の働く場や就労機会を拡充します。

④ 高齢者の健康保持と講座の充実

- ・病気や認知症の予防、早期発見、早期治療につなげるため、健康診査及び人間ドック受診補助事業を継続実施し、介護予防事業との連携から高齢者の健康保持の増進を図ります。
- ・生活に役立つ情報が得られるなど、気軽に参加できる講座を企画します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 地域の通いの場（サロン等）	箇所	40	42	厚労省「通いの場の展開状況」
① 介護認定新規認定率（月平均）	%	0.29	0.20	国保データベースシステム
② 権利擁護に関する相談件数	件	458	500	「町地域包括支援センター業務報告」
② 認知症高齢者見守り事業の利用人数	人	31	50	事前登録人数
④ 高齢者のデジタル機器活用支援	回	0	4	開催回数

関連する 個別計画	吉岡町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画	吉岡町健康づくり計画
	吉岡町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画	吉岡町自殺対策計画
	吉岡町新型インフルエンザ等対策行動計画	

※21 高齢者が介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、住民と連携し「介護」、「予防」、「医療」、「生活支援」、「住まい」の5つのサービスを一体化して提供していく地域での体制のことです。
 ※22 「Quality Of Life」の略称で、生活の質とされます。高齢者のQOLの低下には「身体機能の低下」と「心理的ストレス」の影響が大きいと考えられ、近年の医療や介護の現場ではQOLを向上させる取組が重視されています。
 ※23 認知症高齢者や要介護高齢者が、介護度が重くなっても住み慣れた地域でいつまでも生活できるように創設された介護サービスです。市町村が指定した事業者がサービスを行い、原則としてその地域に住む住民が対象となります。

紡ぐ1 ▶ ⑤障害者福祉の充実

現況と課題

① 自己実現への挑戦を支援しています

- ・ 障害のある方の就労機会の拡充のため、相談支援事業所やハローワーク等の関係機関と連携し、一人ひとりの状況に合った就労先の確保に努めています。
- ・ 障害のある方の当事者団体に対して補助を行うことで、生きがいのある生活を実現できるよう、努めています。

② 地域での生活の確立を支援しています

- ・ 障害のある方が地域で自立して生活し社会参加ができるよう、障害福祉サービスや地域生活支援事業を実施しています。
- ・ 障害者施設が地域に根差しており、地域で生活する障害のある方を見守る機運があります。

③ あらゆるバリアの解消に努めています

- ・ 障害のある方が生活しやすいよう、段差の解消や手すりの設置など、住宅のバリアフリー化を支援しています。
- ・ 意思疎通を図ることに支障がある方への支援に努めています。
- ・ こころのバリア解消のため、障害者理解促進研修及び啓発事業を行い、障害のある方への理解を深める取組を進めています。

④ 保育園受け入れを支援しています

- ・ 一定の条件を満たした障害のある子どもを受け入れている保育園に助成しています。
- ・ 受け入れ保育園の保育士確保等の体制整備をしています。

⑤ 適切な就学指導を行っています

- ・ 保健センター・教育委員会・学校・幼稚園・保育園が連携して適切な就学指導を行っています。

⑥ 経済的負担の軽減を図っています

- ・ 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、障害年金1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費の自己負担分を助成しています。
- ・ 身体障害者手帳3級の方の入院費を助成しています。
- ・ 自立支援医療(精神通院医療)受給者証をお持ちの方の精神通院医療費を助成しています。

取組

① 自己実現への挑戦の支援

- ・ 障害のある方の雇用促進のため、就労継続支援や就労移行支援等を実施します。
- ・ 障害のある方の雇用の場を守るため、障害者就労施設等からの物品等調達を積極的に行います。
- ・ 移動支援事業や団体補助を引き続き実施し、障害のある方の社会参加を推進します。

② 地域での生活の確立

- ・ 障害のある方が適切なサービスを受けながら地域での生活が確立できるよう、医療機関や障害者施設との連携を強化し、各種サービス提供体制を整備します。

③ あらゆるバリアの解消

- ・ 障害のある方が生活しやすいよう、住宅のバリアフリー化への支援の充実を図ります。
- ・ 手話通訳者及び要約筆記者の派遣などを実施し、意思疎通を円滑にするための支援を継続します。
- ・ 障害のある方への理解を深める活動を継続して行い、こころのバリアの解消に取り組みます。

④ 保育園受け入れ支援

- ・ 障害のある子どもが生き活きと過ごすことができるよう、保育園の体制整備を支援します。

⑤ 適切な就学指導の充実

- ・ 発達に課題がある子どもに対し、家庭への支援や相談体制を強化します。
- ・ 町と関係機関が連携を図り、年齢や発達段階による切れ目のない支援を目指します。

⑥ 経済的負担の軽減の保持

- ・ 障害のある方の健康管理と医療費負担の軽減のため、継続して助成します。
- ・ 福祉医療制度を安定的に継続するため、適切な医療受診について啓発します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
① 就労移行支援実利用人数	人	3	11	サービス利用実績
② 計画相談支援実利用人数	人	47	83	サービス利用実績
③ 障害者理解促進研修及び啓発事業実施回数	回	0	2	事業実施回数

関連する 個別計画	第2期吉岡町地域福祉計画	第4期吉岡町障害者計画
	第6期吉岡町障害福祉計画	第2期吉岡町障害児福祉計画
	吉岡町第2期子ども・子育て支援事業計画	

関連するSDGs



紡ぐ1 ▶ ⑥ 社会保障体制の充実

現況と課題

① 母子・父子家庭等の医療費の自己負担分を助成しています

- ・ 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を扶養している母子・父子家庭、父母のいない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童で、所得税非課税の方に保険診療による自己負担分を助成しています。
- ・ 将来にわたり、安定して制度を継続していくために、適切な医療受診の啓発が必要です。

② 健康づくりや介護予防活動を推進しています

- ・ 身近な地域に「ふれあい・いきいきサロン」や「筋トレ」等の通いの場があります。
- ・ 町老人福祉センターにおける体操教室や町主催の一般介護予防事業を実施しています。
- ・ 高齢者の健康づくりと介護予防事業の一体的な実施が求められています。
- ・ 老人クラブの減少を要因に、地域活動への参加機会が減少しています。

③ 国民健康保険、介護保険の充実と国民年金の保持を行っています

- ・ 給付費適正化の取組を行っています。
- ・ 制度の周知を実施しています。

④ 生活困窮世帯を支援しています

- ・ 生活に困窮した世帯は、複合化・複雑化した問題を抱える世帯も多く、他職種連携や横断的な支援体制の構築を図る必要があります。
- ・ 関係部署、関係機関及び関係団体と連携して対応しています。

⑤ 国民健康保険の財源確保に努めています

- ・ 健全な国民健康保険の運営を継続していくためには、確実な財源確保が必要であり、適正かつ公平な課税、徹底した徴収に基づいた厳密な債権管理に努めています。



関連するSDGs



取組

① 医療費の助成

- ・ 母子・父子家庭等の健康管理と医療費負担軽減に取り組みます。
- ・ 安定した制度を継続していくため、適切な医療受診について啓発します。

② 介護予防事業の実施

- ・ 各地域において、予防活動が一層推進されるよう、介護予防サポーター・フレイル予防サポーターの養成を行います。
- ・ 町地域包括支援センター等と連携を図り、地域の健康課題を把握し、一般介護予防事業を企画・実施します。

③ 国民健康保険、介護保険の充実と国民年金の保持

- ・ 給付費を抑えるため、予防事業を展開します。
- ・ 給付費適正化事業を実施し、適正利用に向けた一層の取組を図ります。
- ・ 制度の周知徹底を図ります。
- ・ 糖尿病重症化予防、重複多受診の訪問指導を実施します。

④ 生活困窮世帯への支援

- ・ 民生委員・児童委員や町社会福祉協議会等と連携し、生活困窮世帯の把握と相談体制の充実に努めます。
- ・ 自立相談支援事業を有効に活用し、生活や就労、食料支援などを通じて生活困窮世帯の経済的自立を支援します。
- ・ 独居生活やひきこもり等による社会的孤立の課題に対して、地域の様々な力を活用した包括的な支援を行うとともに、生活困窮者を支える地域づくりを目指します。

⑤ 健全な財政の推進

- ・ 国民健康保険資格の有無、第三者行為、レセプト点検を徹底します。
- ・ 国民健康保険サービスの質的向上を図るため、適正かつ公平な負担に基づいた歳入を確保するとともに、体制の強化と積極的な滞納処分から安定した財源を継続的に確保します。

達成目標

指標名	単位	令和2年度 (実績)	令和8年度 (目標)	目標指標の測定 あるいは取得の方法
② 介護予防に資するボランティアの人数	人	150	300	「認知症サポーター」「介護予防サポーター」「フレイル予防サポーター」養成者数累計
③ 第1号被保険者1人当たり(月)の介護費用	円	23,074	23,000	地域包括ケア「見える化システム」
⑤ 国民健康保険税の徴収率	%	82.1	82.5	—

関連する個別計画

吉岡町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画

第2期吉岡町地域福祉計画